



# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年2月7日(水)  
第25巻 第27号

通巻第1057

<http://www.oamirotary.com>  
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

### 本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司  
唱 和 四つのテスト  
ソング 奉仕の理想  
会長挨拶 会長 大越 将司  
幹事報告 幹事 星野 実

プログラム  
会員卓話  
佐藤廣子会員・高山義則会員  
「スリランカ訪問報告」

### ニコニコBOX

大越 将司 会長  
週末、出張で沖縄に行ってきた。  
美味しい沖縄そばが食べられてニコニコ  
です。

例会日	1月24日	1月10日
会員数	30	30
出席	16	18
欠席	14	13
M U	0	0
免除	7	7
出席率	76.67%	83.33%

### 会長挨拶

大越 将司 会長



憶しています。皆様も寒暖差には、ご注意下さい。

みなさん、こんにちは。  
先日1月20日は、一年で最も寒い「大寒」ですが、みなさんいかがでしたか。  
私は出張で沖縄にありまして、最高気温が25℃。半袖の方もいました。  
千葉とは気温差が15℃位ありましたので、身体がおかしくなりそうでした。  
先週は海外に行かれていた会員の方も多かったと記憶しています。皆様も寒暖差には、ご注意下さい。

さてこの年末年始、我々千葉県民の間で議論的になっている話題があります。それは、「JR京葉線のダイヤ改正」です。  
具体的には、朝夕の混雑時に蘇我⇒新木場までノンストップでつなぐ通勤快速4本と、海浜幕張などのベッドタウンに停車する快速電車35本、合計39本の快速を廃止して、各駅停車に変更するというものです。  
これには、千葉市 神谷市長はもちろん、千葉県 熊谷知事、一宮町 馬淵町長など、外房線・内房線沿線の自治体からも反発があったとのこと。  
前後しますが、昨年末には「ダイヤ改正への報復」として、浦安市役所に東京ディズニーランドへの爆破予告まで届き、大混乱となりました。

各所からの反対が予想以上であった為、JR東日本千葉支社は、1月15日に早朝6時台の外房線：上総一ノ宮駅発と内房線：君津駅発の2本のみ、快速を復活させると発表しました。  
一定の意見が配慮されたと言えますが、焼け石に水とも言えそうな結果です。

快速の停車駅や外房・内房線の沿線に住む方からは、不満の声が上がっていますが、新習志野駅など快速が停車しなかった駅の方からは、好感されています。  
JR東日本の発表したダイヤ改正の理由に、「混雑の平準化」があります。  
通勤ラッシュ時の京葉線の乗車率は、通勤快速が70%、各駅停車が130%。  
これを平準化し、改善していきたいとのことのようです。

今回一連の騒動について、「いち民間企業であるJR東日本の経営方針に、自治体が見解するのは間違いだ」という声もあれば、「本当の理由はコスト効率化を狙ったものだ」という意見もあります。  
実際にJR東日本の業績を見ると、コロナ禍・3年間でかなり落ち込んでおり、自己資本比率も約10%減少し、厳しい経営だったことが分かります。

私個人の意見としては、かつての国鉄が民営化された以上、自主運営・企業努力に任せるべきではないかと感じております。  
今回の騒動、みなさんはどのように感じられましたでしょうか。

以上で、私の会長挨拶といたします。





西岡 毅 会員 おめでとうございます。

1月28日(日)開催 子ども食堂



大網白里市出身。駒澤大学文学部地理学科卒、北海道大学大学院教育学院修了（教育学修士）

岩手朝日テレビ、テレビ北海道のアナウンサー、公務員系専門学校の常勤講師を経て、2014年に株式会社ハッピーアローを設立。

メディア 教育のサービスを中心に、企業や大学の講師、子ども向けイベントの企画・運営、広報のコンサルなどを行っている。

## 「千年続く企業になる」 ～潰れない会社の持続力の源は～

### ① アナウンサーを目指した理由



20社ほど受けて岩手県のテレビ局に内定することができました。そこでは、岩手県内を巡る旅のコーナーを持たせてもらい、とても楽しく過ごしました。

昔から旅行番組が好きで世界に興味を持ち、大学は地理学科に進学しました。在学中は日本各地にフィールドワークに行き、その土地のことを深く学ぶことができました。

旅のライターに憧れていたものの、タレントになることは難しいと思い、就職活動では友人のアドバイスで旅のライターに近いアナウンサーを目指しました。みなさんがイメージする通り難関でなかなか合格できませんでしたが、

その後、結婚を機にテレビ局を退職したものの、もう少しアナウンサーとして経験を積みたいと思い、北海道のテレビ局に転職し、ニュースキャスターを務めました。在勤中に、このままアナウンサーを続けていいのだろうか、本当にやりたいことは何か、自分の「軸」を探ったところ、テレビから一方通行ではなく「直接相手に伝えてその人の前進をつくりたい」ということが出てきたので、テレビ局退職後は講師に転向しました。

### ② 起業した理由

講師になり、専門学校に務めているときに、教育の大切さに気づきました。中でも、生きる力を身につける「キャリア教育」の大切さに気づき、新たに「教育で貢献する」という軸が生まれました。そこで、教育のことを広くやろうと思い教育サービスの会社を起業しました。

起業後は、教育の研究をするために「大学院進学」、学んだ地理をもっと普及しようと「地理女 net」を設立、子どもたちの教育をサポートしようと「小学生向けのキャリア教育スクール開講」と、軸に沿って大きなチャレンジをしてきました。軸があれば、達成はしないものの、そこから何をするか逆算して目標が見えてくると体感しました。

### ③ 日本の老舗企業が教えてくれたこと



世界の創業100年以上企業のうち、日本の企業は50%、創業200年以上の企業では65%を占めています。1700年創業の「福田金属箔粉工業」は、粉と箔を中心にさまざまな事業を行ってきました。苦しかった時期もあったようですが、「コアミッションから離れてはいけない」ということを大切に、粉と箔を扱う基本姿勢を創業当時から変えず、現在は医薬品のフィルムや宇宙事業など新たな事業も展開しているようです。

先日のコロナ禍など、大変なことは多々ありますが、大切なのは「軸から生きること」だと思います。軸に沿って成功まで取り組んでいけば、それは失敗ではなく成功の途中。できるかできないか、ではなくやるかやらないか、で選択することで、千年企業のように前を向いて進んでいけると感じています。そして自分もそうこれからも生きていこうと思います。

